

太平洋クロマグロ2019年日本海生まれ 加入量モニタリング速報 (第2報 2019年12月)

国立研究開発法人
水産研究・教育機構 国際水産資源研究所

- 島根県隠岐諸島周辺における、曳縄モニタリング船*の9月から11月の間の操業について、CPUE(漁獲努力量当たり漁獲尾数)を日本海生まれの加入動向の指標として分析した。
- 2019年における曳縄モニタリング船CPUEは、2013年～2018年平均の133%、前年の98%であった。
- 2019年の日本海生まれの加入量指標は、前年よりはやや低いが、これまでの調査期間(2013年～2018年)の中では高水準であった。

※: 隠岐諸島周辺におけるモニタリングは、2013年から開始し、2019年は11隻の操業データを使用している。

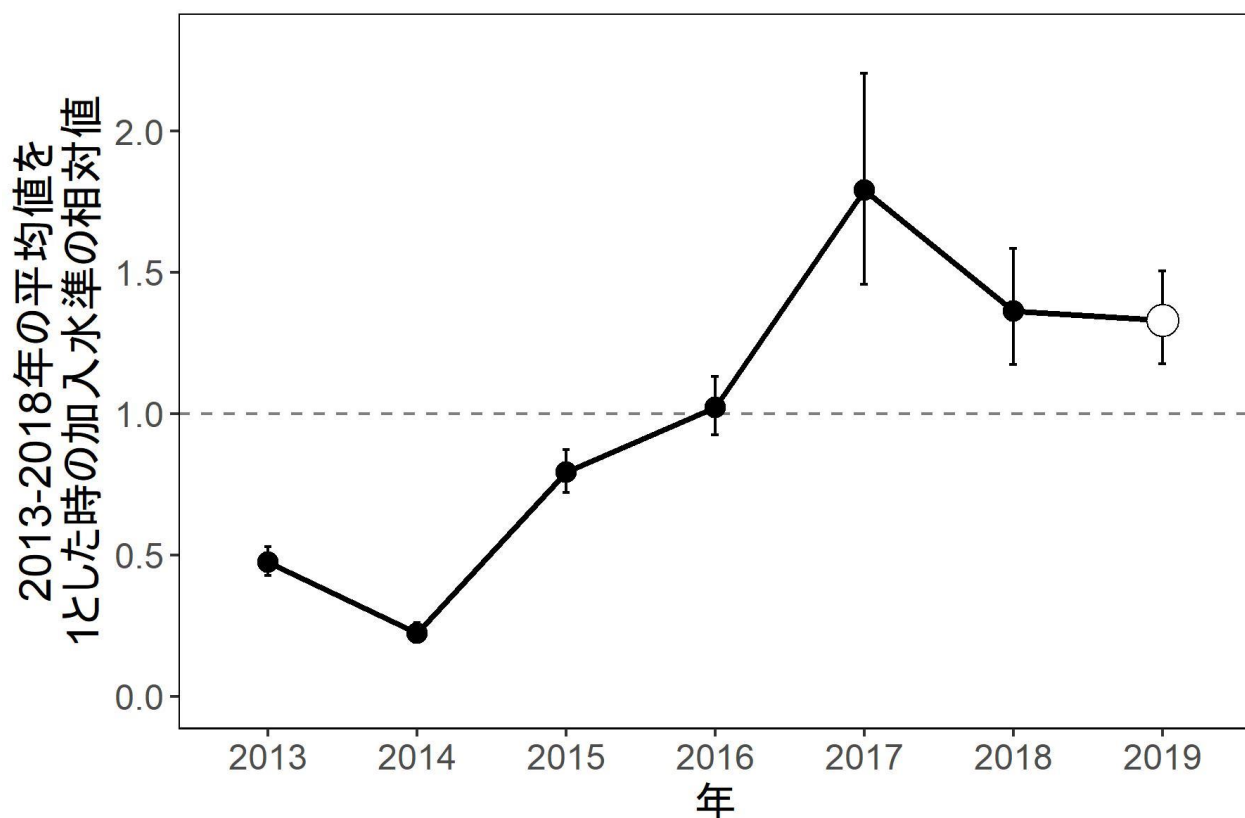


図. 2013～2019年の9-11月の曳縄モニタリング船CPUEの相対値.
図中の垂線は95%信頼区間.